



滋賀短期大学 学 報

2016. 6. 1

No. 79

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 広報・図書委員会 電話(077)524-3605

ホームページアドレス <http://www.sumire.ac.jp/tandai/>



自らも支える歩みを目指して

滋賀短期大学学長 佐藤 尚武



今年度の入学式は、4月2日に本学の体育館で行われました。学内の桜が満開近くになるなか、まさに春爛漫のよき日に、男子学生29名を含む293名の新入生を迎えています。本学は1970年に滋賀女子短期大学としてスタートしましたので、本年でもって47年目を迎えるに至っています。また、男女共学の短期大学に移行して9年目に入っています。創立以来、「心技一如」の建学の精神のもと、人格教育と実学教育を両輪とする教育を推し進め、教養教育をベースに実践的な専門の知識と技術を身につけた、人間性豊かな社会人を育てることを目指しています。その過程では教育の質的改善というまでもなく、学生への支援、とりわけ就職支援には力を注いでいます。また、滋賀県内の自治体や関係機関との連携による教育研究の取組も進んでいます。

ところで、入学式でもふれましたが、新年度の学びに向けて心に留めてほしいことがあります。その1つは、公職選挙法の改正により、選挙権の年齢が「18歳以上」に引き下げられたことです。ご存じのように、この夏の参議院選挙から適用されます。選挙権については、1945年に「25歳以上」から「20歳以上」に引き下げられました。今回はそれ以来の改正ですので、実に70年ぶりとなります。この年齢を国際的にみますと、世界の85%近くの国や地域が18歳以上に選挙権を認めていますので、ようやくにして国際標準に並ぶことになりました。日本の若者が他国の若者より責任ある行動がとれないということはありません。選挙権の引き下げはむしろ遅かったのではないかと思います。

そういったことを含めまして、皆さんには、自分の足でしっかりと立ってほしいと願っています。自分で考え、自分で判断し、自分で行動することが求められているのです。そのことは、自分自身に関わることはもちろんのこと、広く社会の一員としても必要になっているということになります。ここでいう自立する歩みは、支えられ

ている歩みのもとに、自らも支える歩みへの意識を高めることを意味しています。本学における新たな学びを通して、この自らも支える歩みへの転換を目指していただきたいと願っています。

2つ目は、「大きく生きる」ということの大切さについてです。ここで「大きく生きる」ことを取り上げた理由は、今日の若者に対して、安定する立ち位置を求めがちであったり、こじんまりとまとまっていたり、気持的に縮んでいたりと いわれるようになり、気になるところでもあるからです。「大きく生きる」という過程では、数年先の社会人としての歩みを見据え、自分自身の想いをどう設定し、どう学んでいくかということになります。具体的には、どのような職について、どのようなスキルを身につけて、どのような立場を目指していくのかということです。ところが、このような将来の可能性を描くことができても、現実的には目の前で問題が生じ、何らかの壁にぶつかって、その想いどおりに進めないことが起こります。そのときには、そこから逃げてしまうのか、立ち向かっていくのかということになりますが、その時のことだけを考えれば、逃げてしまった方がよいのかもしれません。しかし、そうして逃れても、またよく似た問題にぶつかってしまい、立ち往生をしてしまうことになるのです。結局は、逃げ切れないということになります。特に、他人との関わりにおいては、ときには面倒なことを背負い込むことになりかねません。しかし、そのことに向き合っていると、他人との距離のとり方や社会との関わり方などがわかってくるようになります。

「大きく生きる」ということは、単に将来への想いを描くということではなく、その想いの実現に向けて踏み出していくことを指しています。その歩みのなかでは、何かにぶつかり、迷い、挑戦し、失敗し、また繰り返し、そうやって自分自身で自分を育てていくことになるのです。そうして身につけた自信めいたものが、これからの遭遇するさまざまな変化に対応できる力を備えることにつながっていきます。社会の一員として、自らも支える歩みを目指すなかでは、大きく目を見開き、一歩一歩踏み出していいただきたいと願っています。

平成28年度 入学式

幼児教育保育学科 教授 手良村 昭子

大津の桜もようやく開き始めた4月2日、平成28年度滋賀短期大学入学式が行われました。生活学科75名、幼児教育保育学科154名、ビジネスコミュニケーション学科64名の計293名が緊張した面持ちで式に臨みました。

式典では、2回生の合唱団と共に学歌斉唱が行われ、入学を許可された293名の名前が読み上げられました。佐藤学長は、式辞において本学の建学の精神「心技一如」について述べられ、「自分で考え、自分で行動できる人になってほしい」と挨拶されました。新入生を代表して幼児教育保育学科の畑野朱里さんが入学宣誓文を読み上げました。みなさんが、滋賀短期大学で

夢と希望を持ち、充実した2年間が送れますよう教職員も気持ちを新たに頑張っていきたいと思っております。



平成28年度 フレッシュマンセミナー

学生支援委員 特任教授 清水 たま子

眩しいほどに晴れ渡った4月6日(水)に本年度のフレッシュマンセミナーは、びわ湖大津プリンスホテルで開催されました。小山内副学長の挨拶から始まった開講式では、同じく副学長が「心技一如」についての話をされました。建学の精神として脈々と息づいていますが、それは本学園創設者の中野富美先生自身が研鑽を積み、松村・大津裁縫促進教授所を開設されたときに遡ります。正面のスクリーンに映し出された中野富美先生のお姿に触れ、辿った道を伺っていると、先生の尊い精神が胸に迫ってくるようでした。

吉浪壽晃能楽師による特別講演、学歌練習に続き、佐野文彦総料理長のメニュー説明の後、角田秀人料飲支配人のご指導で恒例のテーブルマナーが行われました。本学の非常勤講師も務めてくだ

さっている両氏には、ご専門のお話しの端々に本学の学生への思いやりを感じ、有難く思いました。

14時から各学科に分かれ、学科の特色を生かした学科別オリエンテーションが行われ、16時に終了しました。



役職教員あいさつ



短大での学びについて

教務部長 木谷 康子

新入生の皆さん、2回生の皆さん、ご入学・ご進級おめでとうございます。新しい1年が始まるこの時期に、短大での2年間の学びについて少し考えてみませんか。

皆さんはこの2年間で、それぞれが目指す専門の領域について学びます。そして、この2年間で身につけた知識や技術を生かして専門の仕事に就き、卒業後40年近く働くことになります。こう考えると、短大での2年間の学びの大切さと、2年間の学びの不十分さがわかるのではないのでしょうか。

それぞれの学科・コースでは、カリキュラムや授業内容を十分に検討し2年間の学びが充実したものとなるよう準備しています。カリキュラム表ではわかりにくいですが、履修系統図に示しているように、各科目は独立したものではなく、先に学ぶ科目はその後に学ぶ科目の基礎となり相互に

関連しあって2年後の免許や資格につながっていきます。単位をとることを目標とするのではなく、科目間の繋がりをよく理解し、系統的に学んでほしいと思います。

また、1コマ1コマの授業を大切にし、知識や技術を身につけておくことは言うまでもありません。2年間の学びで卒業後専門職として働き続ける基礎を作るとともに、働き続けるための力を自分のものとするための姿勢も身につけてほしいと思います。それは、勉強の仕方、自分が必要とする情報を集め選びとる方法、知識や技術を目の前の課題にあわせて応用していく力、そういったものです。

2年間は長いようであつという間です。生涯学び続ける姿勢を身につけて、自信を持って働き続けることのできる基礎作りのために、有意義に過ごしてほしいと願っています。



壁を乗り越える楽しさを味わってみませんか？

学生部長 原 知子

ご入学・ご進級おめでとうございます。桜の季節からはや2か月。2016年も半分が過ぎようとしています。短大生活のリズムは安定していますか？

短大時代の“真っ白なキャンパス”に、どんな夢を描き始めているのでしょうか？目指すものは具体的に なっていますか？それとも、キャンパスに一所懸命自画像をかきながら、自分探しをしているのでしょうか？

自分に何ができるのか考える、将来の仕事につながる資格を取得する、無心になってクラブ活動に打ち込む、学園祭で友達と協力して楽しむ、恋の悩みを相談する、卒業後のそれぞれの道について語り合う…、社会に出る直前の今が、人生観の土台を作り、人生の羅針盤になるような感性を磨く、大事な時期ではないかと思います。まだまだ

沢山の未知との遭遇があつて、勉強すればするほど知らないことの多さに気づかされ、社会の奥深さを感じると思います。やりたい事と現実のギャップに悩むこともあるかもしれません。思い通りにならないことの方が多いでしょう。

しかし、その壁を乗り越えようと“必死になつて”小さな努力を積み重ねて、“異見”に耳を傾けていると、思いがけず自分の能力が磨かれたり、不思議にもいろいろな人の協力が得られたりするものです。苦しいことを乗り越えた時の達成感や喜びを、大学時代にこそ味わってみませんか。教職員は、皆さんの人生の応援団だと考えています。案外“壁”は自分であつたりもします。一緒に壁を乗り越える楽しさを味わってみませんか？みなさんが一回りも二回りも大きくなって卒業を迎えられることを期待しています。

役職教員あいさつ



良い教育

学生募集部長 山中 博史

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。
数多くある大学、短期大学、専門学校の中から
本学を選択して頂き、心から御礼申し上げます。
本学の基本理念の行動指針及び基本方針に次のよ
うな文が掲げられています。

「『よい教育』の実践に努め、教職員は一体となっ
て学生と真剣に向き合う教育支援に取り組みま
す。」

「一人ひとりの学生の学ぶ力を引き出すことを
めざします。」

毎年、卒業生を送り出すときに、本当に上述し
たようなことを成し得たのか、いつも自問自答を
繰り返しております。

先日、大学体育連合の主催する研修会の講演で、
演者からアメリカの教育者ウィリアム・ウォード

の次のような至言が紹介されました。

The mediocre teacher tells. The good teacher
explains. The superior teacher demonstrates.
The great teacher inspires.

簡訳すると次のようになります。「凡庸な教師は、
ただ話をする。良い教師は、説明をする。すぐれ
た教師は、範を示す。偉大な教師は、心に火をつ
ける。」

これからの2年間で、皆さんの心に火をつけら
れるように、良い教育を実践し、一人ひとりの才
能を引き出せるように、努めたいと考えておりま
す。

2年間という短い間ですが、全力で支援してい
きますので、充実した学生生活を送ってもらえる
ことを深甚より祈念しております。



日本語の美しさ

図書館長 清水 まゆみ

日本語は「悪魔の言語」といわれます。日本語
は習得するのが難しいという意味です。まず文字
の数です。漢字、カタカナ、ひらがなだけでなく、
ローマ字や算用数字も使うので、一言語で使用する
文字の種類としては、世界で一番の多さです。
それに人称代名詞が多数あります。一人称では、私、
僕、俺など、二人称では、あなた、君、お前など、
相手によって使い分けています。使い分けるとい
えば敬語で、尊敬、謙譲、丁寧と三つの分類があり、
生まれながらに日本語を使用していても使い
こなせていません。日本語の難しさを挙げれば切
りがありませんが、美しさもあるのではないで
しょうか。美しい日本語として、「いただきます」
と「ごちそうさま」を挙げたいと思います。「い
たadakimasu」は食材への感謝を表しています。食

材のほとんどは動物あるいは植物という生物であ
り、命を持つ生物を食すにあたり、「あなたの命
をいただきます」という意味です。多くの生物の
犠牲の上に私の命が成り立っているのです。「ご
ちそうさま」は食材を準備してくれた人への感謝
を表しています。漢字で書くと「御馳走様」で、「馳」
も「走」も走ることを意味し、スーパーマーケッ
トも冷蔵庫もない時代では、多くの人が走りま
わって食材をそろえてくれたのです。食前・食後
のこれらの言葉は日本語独自の表現だそうです。
人が生きて行く上で、すべてのものに感謝すると
いう日本人の感情が込められているのです。普段
何気なく使っているほかの日本語にも、美しい表
現があるでしょう。多くの書籍を読み、日本語の
美しさを認識してもらいたいと願います。

学 科 長 あ い さ つ



生活者の視点に立ち、自立できる専門知識と技術を

生活学科長 中平 真由巳

時代は健康で快適、真に豊かな生活を求めています。生活学科では、生活学を『生活者の視点』に立って多角的、総合的に探求しています。生活学の各分野には「食健康コース」、「製菓マイスターコース」、「ライフデザインコース」を設置し、理論に基づく実習・実験・演習より構成したカリキュラムを提供して実践力を養っています。各コースでは、栄養士、栄養教諭、製菓衛生師、フードスペシャリストなどの専門性の高い資格が取得できます。これらの専門知識と技術は自分を活かす力として一生を支えてくれます。

当学科では、“地域に根ざす”というコンセプトを生活学に取り入れて、社会との結びつきを大切にしています。食健康コースでは、滋賀県に残る郷土料理の教材化と継承に力を入れ、地域と連携して伝統食が提供できる栄養士を育成しています。また製菓マイスターコースでは、地元企業と連携し、社会が

求める人材の創出に向けた教育プログラムを通じてクリエイティブな製菓衛生師の育成に取り組んでいます。名称変更して新たに歩みだしたライフデザインコースは、コースの特色を活かして「着る」、「住む」という側面から地域の暮らしや文化に添ったアイデアと技術の提供を行っています。

真に豊かな生活の実現に向け、本学科の学生にはサイエンスと生活文化の融合に基づく発想力・創造力・センスを身につけていただきたいと思っています。その実現には、専門性を向上させることが重要ですが、自分で課題を発見して挑む姿勢、必要な技術を身に付けて実践に移し最後までやりぬく精神力、共に生きる者としての柔軟な心がベースになります。わたしたち教員も全力で皆さんの支援をしたいと考えています。本学での学びの機会を存分に活かし、社会に貢献できるプロフェッショナルの基礎を一緒に築いていきましょう。



幼児教育保育のプロフェッショナルとして

幼児教育保育学科長 山本 剛史

幼児教育保育学科では幼児教育保育に関する専門の知識と技術を授け、時代や社会の要請に応え得る幼稚園教諭や保育士などの人材の育成を目的としています。

平成27年4月に「子ども・子育て支援新制度」が施行され、「幼保連携型認定こども園」の普及が目指されています。ここでは学校教育と保育を一体的に提供する施設であることから、幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方を有する保育教諭として働く事が条件となります。国は乳幼児期の保育・教育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものと位置付けており、子どもの将来に大きく影響を及ぼす保育者

の仕事の重要性と責任を示しています。

その為、本学では約3年分の内容を2年間で勉強・修得しなければいけないカリキュラムになっています。

それなりにハードな時間になりますが、将来“幼児教育保育のプロフェッショナル”として現場で責任をもって活躍していくためには、しっかりと自分の夢や目標に向かって努力し続けてほしいと思います。

同じ学科の友達、みんな同じ夢・目標・志を持った仲間なのでお互い励まし合いながら頑張っていきましょう。我々も精いっぱい皆さんを支援していきたいと考えています。



夢を実現する努力を続けよう！

副学長・ビジネスコミュニケーション学科長 小山内 幸治

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。近年の人工知能の急速な発達により、将来は人間が行う仕事の内容が大きく変わるといわれています。しかし、将来どのような仕事に就くとしても基礎学力とコミュニケーション力は社会で仕事をしていくうえで必須の能力であることには変わりありません。本学科では、専門科目とともに、ビジネス基礎や教養基礎Ⅰ・Ⅱなどの科目で、基礎学力、コミュニケーション力、実践力を身に付けるようなカリキュラム

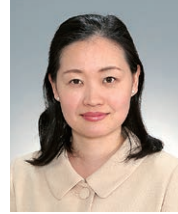
を整えています。また大学と地域との連携が注目されている中、地域ビジネスコースを新設し、道の駅「竜王かがみの里」との連携企画などで地域とのつながりを強めています。今年の3月に卒業した本学科の卒業生は、就職率100%を達成しました。皆さんにも、自分の夢に向けて努力をつづけ、それを実現できるように頑張ってくださいと考えています。私たち教職員は、全力で皆さんをサポートします。一緒に頑張っていきましょう。

新入職員あいさつ



ひさしぶりの竜が丘キャンパス
生活学科 特任教授 柳父 立一

1980年から84年まで、当時の滋賀女子短大幼
教学科に勤務していました。32年ぶりに今回は
生活学科の教職科目担当で着任しました。まわ
りは建てられるところはすべて住宅に変わりました。昔は土曜日の午前の蓬莱山の雪を短大から見て、午後にスキーに繰り出したものですが、通勤の上り下りで体力が戻ればまた行けるかな…？



『エミール』との出会い
幼児教育保育学科 講師 北後佐知子

保育・幼児教育を学ぶ中で私はルソー著『エミール』に出会いました。学友と共に『エミール』を読んだ2年間は深く心に残っており、今の自分にも大きな影響を与え続けています。皆さん一人ひとりにとって、人生の転機となるような出会いが滋賀短期大学での2年間にありますように。私もその一端を担えるよう努力していきたいと思います。



「一つずつ確実に」
生活学科 特任助手 岡田 香織

4月より生活学科の助手としてお世話になっております。
学生として過ごしたこの場所に、このような形でまた戻ってきていることを自分自身とても驚いています。一つずつ確実にこれから皆さんと共に成長していけたらと思います。皆さんの学生生活が充実したものになるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。



感性を磨き充実した学生生活を
幼児教育保育学科 特任助教 浜崎 由紀

新緑が眩しい季節となりました。竜が丘から見下ろす琵琶湖、キャンパス内の木々や色とりどりの草花、鶯の鳴き声など、ふと見渡せば、滋賀短期大学には自然が身近にあります。

五感を働かせ自然を感じ、感性を磨くことは、学生の皆さん方の深い学びにつながることでしょう。充実した大学生活を応援しています。



学生は大学の宝である
ビジネスコミュニケーション学科 特任教授 堀池喜八郎

私は滋賀短期大学には、滋賀医大との共催の公開講座の際に教育・研究等担当理事(副学長)として訪れていました。このたび思いがけず陣内皓之祐先生の後任として本学にお世話になることになりました。大学の宝は学生であることを肝に銘じ、心を新たにすることにあたっていきたくと決意しています。皆様よろしくお願い致します。



探究心をもち続ける
幼児教育保育学科 特任助教 松井 典子

今年度から幼児教育保育学科で音楽の教科を担当いたします。

前職では、保育現場で幼児音楽の授業に携わっていました。音楽活動を通じ実感したことは、子どもたちは常に探究心に溢れていたことです。授業の中でも子どもの目線となり考え、皆さん自身も日頃から様々な事柄に対して探究心をもち続けていってほしいと思います。今後ともよろしくお願い致します。



よろしくおねがいします
ビジネスコミュニケーション学科 特任助教(非常勤) 伊澤 亮介

この4月からビジネスコミュニケーション学科でお世話になっております。

学校全体の雰囲気や仕組み、学科内の授業そして学習支援室の業務にも慣れてきました。これからも学力の底上げと資格・就職試験勉強の支援につとめ、より多くの学生に学習支援室を有効に活用してもらえよう頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



「自分も友達もステキ」
幼児教育保育学科 特任准教授(非常勤) 山中よし枝

今春より、主に、保育実習を担当致します山中です。これまでの子どもと関わる仕事で、『自分も友達もステキやな』と子どもが感じる保育(あそび)をする』と思ってきました。乳幼児期に基礎が育つとされる「人格」とはそういうことであるからです。子どもから学んだことを生かした授業をしたいと思います。

学生自治会執行部

学生自治会 会長 徳田 朋子

私たち学生自治会執行部は、短大2年間の学園生活がよりよいものになるため、在籍学生を代表して様々な活動を行っています。

6月の体育大会では、学科コース関係なくゼミ毎に色別に別れ競技を行います。11月に行われる純美禮祭(学園祭)では、仲間たちと模擬店を出店したいという人々への衛生面などからのサポート、ステージで何かをしたいという人々のお手伝いをしています。企画から運営まで、やりがいを感じながら実施しています。

また、滋賀短期大学では、年に2回、リーダーズトレーニングを実施しています。このリーダーズトレーニングでは、自治会執行部や各ゼミ代議員(代表者)、クラブ、サークルの代表者、教職員の方々が集まり、テーマごとにグループに分かれ、意見や希望を出し合います。将来社会人として、私たちが仕事を進めていくうえでの非常に大切な活動と位置付けています。方法として、課題をグループごとに議論し、決定事項をゼミ、クラブ、サークルに持ち帰り全

員でそのテーマごとの決定事項を共有するというものです。

この他にも、6月から12月にかけて環びわ湖大学・地域コンソーシアムのプロジェクトに参加し、県内の他大学との交流も行っています。その一つとして12月に、他大学の方と合同で献血の呼びかけ活動を行いました。

学生自治会は学校行事の企画・運営だけではなく滋賀県に関するボランティアにも積極的に参加しています。この滋賀短期大学での2年間をどう過ごすかは自分次第です。その中で私たちとこの大学と一緒に盛り上げていってくれる人をお待ちしています!!



図書館だより

図書館 スタッフ一同

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんがこれから利用する本学図書館は、皆さんの授業や研究をサポートする図書や雑誌を収集し、提供しています。参考調査も行っており、皆さんが必要な情報を収集するお手伝いもします。ぜひ、図書館をご利用ください。

また、授業の合間に映画を観たり、インターネットなどを利用したり、友達との待ち合わせなどにも図書館をご利用ください。

図書館が皆さんの身近な場所でありたいと思っています。そしてその中で皆さんが良い本に出会え、学生生活で良い思い出になるよう願っております。

最後に新入生の皆さんにお薦めの図書を紹介します。

- *『嫌われる勇気』岸見一郎、古賀史健著 ダイアモンド社
- *『14歳からの哲学』池田晶子著 トランスビュー
- *『ぼくは愛を証明しようと思う。』藤沢数希著 幻冬舎
- *『世界でいちばん貧しい大統領からきみへ』ホセ・ムヒカ著 くさばよしみ編 汐文社
- *『新編大学学びのことはじめ』佐藤智明 矢島彰 安坂克也編 ナカニシヤ出版



平成28年度公開講座の開催のお知らせ

●滋賀医科大学との共催公開講座

7/23(土)

9:30~15:00 『肥満について』

【講演の部】9:40~11:20

食生活と肥満の関係を科学する

食生活から肥満を考える

【調理実習の部】11:30~15:00

しっかり食べて肥満予防

～食物繊維でおなかスッキリ～

●淡海文化講座(卒業生・在学生の保護者は参加費半額)

10/11(火)

13:30~14:30

ジュスカ・グランパール コンサート ～水と音楽～

14:40~15:40

命をつなぐ保存食 ～民族の知恵に学ぶ～

10/14(金)

13:30~14:30

大津市における高齢者の暮らしぶりについて

～何歳になっても楽しみを持てるまちづくり～

14:40~15:40

地域の中のアート

～滋賀から発信するアートな取り組み～

また、『すみれキャリア講座』及び『こども講座』につきましても例年どおり開催いたします。

詳細につきましては、滋賀短期大学地域連携教育研究センター(☎077-524-3605)までお問い合わせください。

同窓会だより

新入会員のお知らせ

●平成28年度新入会員

生活学科	67名
幼児教育保育学科	130名
ビジネスコミュニケーション学科	59名
計	256名

●年次評議員

生活学科	：野澤あゆみさん、畑野 愛香さん
幼児教育保育学科	：上杉 紫乃さん、須佐美博喜さん
ビジネスコミュニケーション学科	：柴原 美樹さん、松田 七海さん

●評議員 畑野 愛香さん

滋賀短期大学同窓会奨励金表彰

同窓会は1回生における勉学の成果が大変優秀であった下記学生を表彰しました。2回生も更なる学びを期待します。

生活学科	：木田紗璃奈さん
幼児教育保育学科	：田邊阿須香さん 今村はるかさん
ビジネスコミュニケーション学科	：近藤 奈穂さん



平成28年度同窓会総会・懇談会のご案内

今年度も総会の後に、生活学科製菓マイスターコースの金丸政義先生にご指導をいただき、製菓実習を行います。みなさんでお菓子作りの楽しさを体験しましょう。ご参加をお待ちしております。

○日時：平成28年9月4日(日)	
9：00～	受付（玄関ホール）
9：30～	総会（121教室）
10：00～	お菓子作り（111教室）
12：30～	懇談会（食堂）

○持参品：エプロン、三角巾、上履き

○会費：1000円（当日受付にて徴収します）

○申込方法：

- ①6月上旬頃送付する総会案内に同封のハガキで申込み。
- ②下記宛にFAXで送信する。

会員番号・氏名・住所・電話番号を記入のうえ、同窓会事務局077-523-5124に送信してください。

○申込締切日：平成28年8月18日(休)

平成27年度の就職状況について

平成26年度の就職活動は、12月が会社説明会解禁日で、選考開始は4月から実施されました。その動きは、従来からの活動状況であったため、学生の就職活動への戸惑いはなかったように思います。一方、平成27年度の就職活動については、会社説明会解禁日が3ヶ月遅れの3月、選考開始が4ヶ月遅れの8月に変更されたため、学生にとって若干の戸惑いは見受けられたものの、就職支援講座等も大きな日程の調整は行わず、従来の内容で支援講座を進行させました。しかし、学生の就職活動の開始時期が本学では遅く、早い段階での活動を促すため、1回生の10月開始の就職支援講座は、年内に履歴書完成を目標に進行させました。年明けには、就職活動に直結する面接対策、電話対応、手紙の書き方講座など実務的な内容を実施しました。支援体制も昨年度同様、ハローワーク、サポートステーションから週3日（水曜日、木曜日、金曜日）来学頂き学生指導の協力体制を整えた。就職決定状況は、卒業生260名に対し、221名の学生が内定を頂きました。率とし

て99.5%の就職内定率でした。進路決定率でみると、4年制の大学への編入が2名、専門学校生1名が進学しました。最終卒業後正規の就職に就かなかった学生は、38名でした。今後学生支援課では、この数字を少しでも少なくする方策を提案しなければならないと考え、支援体制については、従来通り就職支援講座の実施、資格取得支援等を実施したいと考えます。サポート体制については、ハローワーク2名のみの体制減になりますが、他の日については、学生支援課でサポートを行います。就職支援体制を確立させるのも、ゼミ教員、学生支援課、本人、そして保護者の方々のご協力を得ない限り100%の達成はありえないと考えます。最後は学生自身の頑張りにかかってきますが、学生支援課として、大学での出会い、関わりつまり「ご縁」を大切にしたい。それにはお互いが協力し、尊重し合い、学生自身やる気を持って前進することを忘れないでほしいと考えます。

学生支援課 大伴 嘉彦

資格取得状況

●生活学科

製菓衛生師受験資格	28名
栄養士	27名
栄養教諭二種	4名

●幼児教育保育学科

幼稚園教諭二種	116名
保育士	115名
児童厚生員	6名

●ビジネスコミュニケーション学科

上級秘書士	8名
上級情報処理士	9名
秘書士	39名
秘書士（メディカル秘書）	31名
日本医師会医療秘書合格	5名
情報処理士	35名
レクリエーション・インストラクター	4名
ウェブデザイン実務士	3名

卒業証書・学位記授与式

生活学科 特任助手 木下 友理子

平成28年3月15日(火)、第45回卒業証書・学位記授与式が本学体育館にて執り行われました。今年、生活学科67名、幼児教育保育学科130名、ビジネスコミュニケーション学科59名が晴れて卒業しました。

佐藤学長の式辞では、巣立っていく卒業生に向けて3つのことについてお話いただきました。1つ目は『その仕事にどのように適応していけるか、向き合っていけるか』、2つ目は『将来に向けて願うこと、望むことなど少し大きな思い描くこと』の大切さを語られました。また、

3つ目は本学の建学の精神である『心技一如』について、「どの時代やどのような職種に就こうとも自分を磨くために働くことを心に留めておいてほしい。そこで得られる『人間性』が人間としての品性や品格となる」と、言葉贈られました。

卒業証書・学位記授与では入学式同様、一人ひとり名前を呼ばれました。2年前より自信がついて晴れ晴れとした卒業生の表情を見ることができて非常に誇らしく、頼もしく感じた卒業式となりました。



卒業記念パーティー

学生自治会 会長 徳田 朋子

3月15日(火)、びわ湖大津プリンスホテルにて卒業記念パーティーが行われました。体育大会や純美禮祭は、先輩方と一緒に行っていました。先輩方に引っ張ってもらい、頼ってしまうことが多かったですが、卒業記念パーティーでは私たちが準備や運営を一からしなくては行けません。上手くできるかどうか不安で、当日はとも緊張していました。

パーティーでの先輩方は、ゼミの皆さんで食事をしな

がら会話されたり、先生方と記念撮影をしてもらっていました。カラオケ大会では、退職される先生が飛び入り参加され、とても盛り上がりました。先輩方の楽しそうな姿を見て、卒業記念パーティーに参加できてよかった、私たちの力で先輩たちを送り出せてよかったという気持ちでいっぱいになりました。1年という短い期間ではありましたが、先輩方と過ごせた時間はかけがえのないものでした。



寄付報告 平成27年10月17日から平成28年4月27日までの間に、滋賀短期大学教育研究所充実基金に、2件のご寄付を賜りました。ここにご寄付を賜りました方々のご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。

早川滋人様 古橋紗人子様 以上2名(順不同)

その他平成28年3月に、山中電工株式会社様から本学正門前にLED街路灯1灯のご寄付を賜りました。また平成27年度卒業生から、学歌銘板をいただきました。感謝の意を表します。

退職教授あいさつ



13年間の感謝

幼児教育保育学科 教授 早川 滋人

平成15年に着任し、13年間の教員生活を送りました。自分が教員となることは想定外でしたので、当初は女子学生(着任当時は滋賀女子短大でした)がキャンパスに溢れる環境に戸惑いました。幼児教育保育学科の心理学関連の授業を主に担当しました。特に発達心理学は保育の重要な基礎科目であり、詳しく丁寧に授業をしましたが、結果としては学生に厳しい先生という印象を与えたようでした。また、校務としてALO業務に関わり、在務中に2回の第三者評価を受け、いずれも適格の

評価を頂きました。この第三者評価では、教職員の方の多大なる理解と協力を頂き感謝しています。この他にも、学園祭にて教員の出し物を企画して学生から喝采を受けたこと、硬式テニス部の顧問として、一度だけですが全国私立短期大学体育大会にも参加したことなどが思い出されます。短い間でしたが、楽しく充実した日々を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。学生の皆さんの輝く未来を願い、教職員の皆様のご活躍と滋賀短期大学の益々のご発展をお祈りしています。



退職にあたりご挨拶

幼児教育保育学科 教授 越智 純子

思い起こしますと平成17年4月に本学で、小児保健(後年「子どもの保健」と名称変更)を担当させていただいて以来11年の年月を過ごさせていただいたことになりました。もともと小児科の臨床医であった私が、教育という全く未知の分野に無謀にも身を転じたにもかかわらずこれだけの歳月を無事過ごせましたのは、教職員の皆様の温かいご支援、ご指導があったからだと改めまして感謝いたします。

子どもたちを育む保育者の道を進む学生さんに、

少しでも保健や健康に関する知識を伝えたいと思ったのがきっかけですが、どれだけのことができたのかと反省することばかりです。

もういちど仕事の軸足を医療(特に小児神経学、障がい児医療)に移していく予定ですが、今までのように夢中で進むのではなく、周囲を見渡して、子どもや保護者の支援に心掛けたいと思っています。

皆様のさらなるご活躍とご健勝をお祈りいたします。



滋賀短期大学よ、永遠に。

ビジネスコミュニケーション学科 教授 柿木 重宜

平成11年に、本学に着任してから、17年の時が過ぎた。恩師の強い要請により、今年の4月から関西外国語大学大学院言語文化専攻(外国語学部)教授として赴任することになった。これまで本学でお世話になった江湖の御恩を考えると、当初は葛藤の日々であったが、最終的に決断するに至った。2期4年の図書館長、地域連携教育研究センター長を終えたが、地域開放の図書館の実現という目標も志半ばとなり、忸怩たる思いはあるが、今後の課題は、大変申し訳ないが次期図書館長に

委ねることにしたい。

最後に、私事の我儘を寛容なお気持ちでお許しくださった理事長、学長をはじめとする教職員の皆様方に深甚より感謝申し上げたい。そして、本学の「心技一如」という高邁な建学の精神を、次世代へ継承されていくことを願ってやまない。今は、ただ明鏡止水の心境で、本学での教育、研究を終え、新天地で更なる研鑽を積むことを決意しながら、ひとまずここで筆を擱くことにしたい。

入試情報

平成29年度入学試験のお知らせ

入学試験の主な変更点

- ①ビジネスコミュニケーション学科について、コースごとではなく学科での出願となります。入学後にコース選択を行います。
 - ②同窓生特別推薦入試を、新設します。
同窓生（本学卒業生）の子息子女若しくは兄弟姉妹を対象とし、入学検定料を不要とします。詳細は入試広報センターまで。
- ※また、他の入試区分での同窓生子女等の受験者については、事前申出により入学検定料を免除します。



A O 入 試（事前面談）			
区 分	I 期	II 期	III 期
受 付 期 間	7月4日(月)～7月26日(火)	8月15日(月)～8月23日(火)	9月5日(月)～9月13日(火)
面 談 日	8月5日(金)・8月6日(土) どちらか1日(受付後、連絡します。)	8月26日(金)	9月17日(土)
結 果 発 表 日	8月12日(金)	9月2日(金)	9月23日(金)

※AO入試事前面談に本学卒業生の子・兄弟姉妹および在学生の兄弟姉妹が申込みした場合には、通過判定時に優遇する制度があります。
詳細は入試広報センターまで。

試 験 区 分	公募制推薦入試			一般入試	
	前期A日程(専願・併願)	前期B日程(専願)	後期(専願・併願)	I 期	II 期
出 願 期 間	9月19日(月・祝)～9月30日(金)	10月3日(月)～10月25日(火)	11月21日(月)～12月6日(火)	1月10日(火)～1月24日(火)	2月13日(月)～3月1日(水)
試 験 日	10月8日(土)	10月29日(土)	12月10日(土)	1月29日(日)	3月6日(月)
合 格 発 表 日	10月14日(金)	11月4日(金)	12月16日(金)	2月3日(金)	3月10日(金)

以上の他に、大学入試センター試験利用入試、指定校推薦入試、社会人特別入試等があります。平成29年度入学試験等の詳細は、大学案内・学生募集要項でご確認をお願いします。また、本学の主な奨学金制度等は次のとおりです。

純美禮学園奨学金(優待奨学生制度)…純美禮学園(滋賀短期大学・附属高校)に兄弟姉妹で2人以上の在籍がある場合は、その弟か妹を対象に授業料の1/2を奨学金(返還義務なし)として支給します。

入学支援による入学料の奨学金支給について…調査書の学習成績概評が4.5以上でかつ④(マルA)の者には、入学料全額を奨学金(返還義務なし)として支給します。

●夏のオープンキャンパス 6/11(土)、6/12(日)、7/16(土)、7/17(日)、8/20(土)

滋賀短期大学を一人でも多くの高校生に知ってもらおうと、今年も色々趣向をこらして開催します。

ぜひ、受験生のお知り合いがいらっしゃいましたら、その方にもぜひお声掛けください。詳しくはHPをご覧ください。

●学校見学について

滋賀短期大学のキャンパスをいつでもご見学いただくことができます。また、大学案内など資料を配布しております。

【見学受付】

平日(9:00～16:30) 入試広報課まで直接お越しください。大学案内・願書等の資料配布、キャンパス内のご案内をいたします。

【土曜日・日曜日・祝日】

玄関でキャンパスマップ、大学案内などの資料一式を配布しております。キャンパス内は自由にご見学できます。

平成28年度入試結果【志願者高校一覧】

出願のあった高校は、次のとおりです。

富山県 滑川 **山梨県** 甲斐清和 **長野県** 諏訪実業 **福井県** 美方/若狭/若狭東/丹南/仁愛女子 **三重県** 伊賀白鳳/津田学園
滋賀県 堅田/東大津/大津/瀬田工業/大津商業/彦根東/彦根西/彦根翔陽/長浜/長浜北/長浜農業/長浜北星/八幡/八幡工業/八幡商業/草津/栗東/野洲/水口/甲南/日野/能登川/愛知/伊香/高島/草津東/湖南農業/河瀬/玉川/守山北/甲西/伊吹/北大津/国際情報/大津清陵/石部/滋賀短期大学附属/比叡山/近江/近江兄弟社/綾羽/滋賀学園/光泉/彦根総合
京都府 洛東/北嵯峨/城陽/峰山/東稜/洛水/南丹/久御山/西乙訓/京都すばる/大谷/京都文教/京都橘/京都西山/洛陽総合/日星/京都翔英 **大阪府** 春日丘/四天王寺/星翔 **兵庫県** 豊岡 **奈良県** 奈良朱雀 **和歌山県** 新宮 **徳島県** 阿波
香川県 尽誠学園 **高知県** 高知中央 など

願書のご請求・質問お問い合わせはこちらまで。 入試広報センター(入試広報課) TEL:077-524-3848 メール:tnyusi@sumire.ac.jp

短期大学行事等開催状況（平成27年12月～平成28年5月）

（総務課に届け出のあったものの一部を掲載しています。）

12月	1日(火) 人事委員会 2日(水) 京滋私立短期大学事務担当者懇談会学生・厚生補導部会会場 3日(木) 教授会、教学マネジメント部会、人権委員会、教職員対象人権研修会、公務員試験対策講座、すみれがーでん 4日(金) 定員問題検討作業部会 5日(土) 家庭の保育事業現任研修、公務員試験対策講座、MOS対策講座 6日(日) MOS対策講座 9日(水) 学園事務連絡会議 10日(木) 教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会、おはなし会、公務員試験対策講座 11日(金) 地域移動講座in近江八幡 12日(土) 公募制推薦入試（中期）、スポーツ特技推薦入試（Ⅱ期） 13日(日) 協会認定栄養士実力認定試験 15日(火) 栗東高校見学会、入学試験委員会 16日(水) 外国人留学生聴聞会 17日(木) 臨時教授会、教学マネジメント部会、企画委員会、スポーツ奨学生選考委員会、就職支援講座、公務員試験対策講座、すみれがーでん 18日(金) 評議員会、理事会、センター試験説明会 19日(土) 図書館連携講座in和邇、公務員試験対策講座、MOS対策講座、環びわ交流フェスタ 20日(日) フードスペシャリスト資格認定試験 24日(木) 科会、自己点検・評価委員会、衛生委員会、学園事務連絡会議、授業冬期休業（～1月4日(月)）、おはなし会 25日(金) 企画調整会議、仕事納め 26日(土) 滋賀短Kids活動	25日(水) 科会（生活、幼教）、ITパスポート対策講座、日商簿記検定3級対策講座、おはなし会 26日(木) 学園事務連絡会議、ITパスポート対策講座、日商簿記検定3級対策講座 29日(月) ITパスポート対策講座
1月	5日(火) 授業再開、仕事始め 7日(木) 教授会、教学マネジメント部会、人事委員会、教務委員会、就職支援講座、公務員試験対策講座、おはなし会 9日(土) 補講日、滋賀短Kids活動 12日(火) 月曜日指定授業 14日(木) 補講日、教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会、すみれがーでん 15日(金) 袴レンタル会（アンジュ） 16日(土) 大学入試センター試験、公務員試験対策講座 17日(日) 大学入試センター試験 21日(木) 企画委員会、教学マネジメント部会、就職支援講座、公務員試験対策講座 22日(金) 常任理事会 23日(木) 一般入試（Ⅰ期） 25日(月) 後期定期試験（～1月30日(土)） 28日(木) 臨時教授会、科会 30日(土) MOS対策講座、公務員チャレンジスタート模試	3月 1日(火) ITパスポート対策講座 2日(水) 教授会、学科長会議、人事委員会、自己点検・評価委員会 3日(木) 教務委員会、教学マネジメント部会、定員問題対策作業部会、すみれがーでん 5日(土) 滋賀短Kids活動 8日(火) 一般入試（Ⅱ期）等、学科長会議 9日(水) 入学試験委員会 10日(木) 臨時教授会、情報システム委員会、人事委員会、人権委員会、情報システム委員会、施設整備委員会、教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会、おはなし会 15日(火) 卒業証書・学位記授与式、卒業記念パーティー（びわ湖大津プリンスホテル） 17日(木) 企画委員会、教学マネジメント部会、科会（生活）、地域移動講座運営部会、すみれがーでん 18日(金) 理事会、評議員会、新Ⅰ回生学生証写真撮影・学生生活オリエンテーション 22日(火) 新Ⅱ回生成績交付、新Ⅱ回生対象就職ガイダンス（生活・ビジコミ） 23日(水) 新Ⅱ回生後期再試験 24日(木) 新Ⅱ回生後期再試験、学長裁量経費報告会、実習委員会、科会（幼教・ビジコミ）、おはなし会 25日(金) 春のオープンキャンパス、新Ⅱ回生対象就職ガイダンス（幼教） 26日(土) 非常勤講師予定者教務説明会 28日(月) 学園事務連絡会議 31日(木) 退職者辞令交付式、離任式、おはなし会
2月	1日(月) メイクアップ講座、MOS対策講座 3日(水) 入学試験委員会、MOS対策講座 4日(木) 人事委員会、教授会、教学マネジメント部会、FD学内研究会、教務委員会、学生支援委員会、MOS対策講座、すみれがーでん 5日(金) MOS対策講座 6日(土) 滋賀短kids活動 7日(日) 日本医師会認定医療秘書資格試験 8日(月) 日商簿記検定3級対策講座、製菓技能検定会場 9日(火) 日商簿記検定3級対策講座 10日(水) 日商簿記検定3級対策講座、学生募集委員会 11日(木) 日商簿記検定3級対策講座 12日(金) 日商簿記検定3級対策講座、定員問題検討作業部会 15日(月) コミュニケーション検定対策講座、ITパスポート対策講座 16日(火) 理事会、Ⅱ回生後期成績交付、コミュニケーション検定対策講座、ITパスポート対策講座 17日(水) Ⅱ回生後期再試験、コミュニケーション検定対策講座、ITパスポート対策講座 18日(木) 企画委員会、教学マネジメント部会、広報・図書委員会、ビジコミ科会、Ⅱ回生後期再試験、コミュニケーション検定対策講座、ITパスポート対策講座、会計監査、すみれがーでん 19日(金) コミュニケーション検定対策講座、ITパスポート対策講座 22日(月) ITパスポート対策講座 23日(火) ITパスポート対策講座、日商簿記検定3級対策講座 24日(水) ITパスポート対策講座、日商簿記検定3級対策講座	4月 1日(金) 新任教職員辞令交付式、教授会、教学マネジメント部会、役職者会議、学生支援委員会 2日(土) 入学式、新任教職員ガイダンス 4日(月) 期首監査、新任教職員ガイダンス、Ⅰ・Ⅱ回生オリエンテーション、Ⅱ回生健康診断 5日(火) Ⅰ・Ⅱ回生オリエンテーション、Ⅰ回生健康診断、企画調整会議、新任教職員ガイダンス 6日(水) フレッシュマンセミナー（びわ湖大津プリンスホテル） 7日(木) 前期授業開始、新任教職員ガイダンス、すみれがーでん 14日(木) 教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会、就職支援講座 15日(金) 附属高校実践講座 16日(土) 公務員模試（第1回全国模試） 21日(木) 企画委員会、教学マネジメント部会、すみれがーでん 22日(金) 附属高校実践講座 23日(土) 公務員模試（保育士）、滋賀短Kids活動 28日(木) 常任理事会、部科局長会議、科会、就職支援講座 29日(金) （昭和の日）授業日 30日(土) 消防点検
5月	6日(金) 附属高校実践講座 7日(土) 公務員模試 10日(火) 創立記念日、奨学生委員会 12日(木) 教授会、教学マネジメント部会、すみれがーでん 14日(土) （幼Ⅱ）月曜日指定授業（6/6代替） 15日(日) 女子バレーボール部春季リーグ戦会場 18日(水) 学生自治会総会 19日(木) 企画委員会、教学マネジメント部会、教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会 20日(金) 附属高校実践講座 21日(土) 会計監査、（幼Ⅱ）火曜日指定授業（6/7代替）、滋賀短Kids活動 23日(月) 会計監査 25日(水) 監事監査 26日(木) 科会 27日(金) 理事会、評議員会 28日(土) （幼Ⅱ）水曜日指定授業（6/8代替） 29日(日) 公務員模試	5月 6日(金) 附属高校実践講座 7日(土) 公務員模試 10日(火) 創立記念日、奨学生委員会 12日(木) 教授会、教学マネジメント部会、すみれがーでん 14日(土) （幼Ⅱ）月曜日指定授業（6/6代替） 15日(日) 女子バレーボール部春季リーグ戦会場 18日(水) 学生自治会総会 19日(木) 企画委員会、教学マネジメント部会、教務委員会、学生支援委員会、広報・図書委員会、学生募集委員会 20日(金) 附属高校実践講座 21日(土) 会計監査、（幼Ⅱ）火曜日指定授業（6/7代替）、滋賀短Kids活動 23日(月) 会計監査 25日(水) 監事監査 26日(木) 科会 27日(金) 理事会、評議員会 28日(土) （幼Ⅱ）水曜日指定授業（6/8代替） 29日(日) 公務員模試

「教員の主な研究活動・社会的活動の紹介」2015年度（2015年4月～2016年3月）

●著書

- 北尾 岳夫 ■（共）『幼少期の運動遊び指導入門 元気っ子を育てる運動遊び』創文企画 5月
- 手良村昭子 ■（共）『保育と表現』嵯峨野書院 4月
- 柚木たまみ ■（共）『幼児教育・保育のうた 99曲マスター』三学出版 4月
- 古橋紗人子 ■（共）『保育士試験の要点—2016年度版』大阪教育図書 5月
／（共）『教育課程・保育課程論 基本保育シリーズ⑭』中央法規出版 2月
- 古橋紗人子・前川 頼子・李 霞
■（共）『マンガとアクティブ・ラーニングで学ぶ保育内容総論』保育出版社 3月
- 李 霞 ■（共）『教育原理』一藝社 3月

●本研究紀要第41号掲載学術論文・研究ノート(2月)サブタイトル省略

- 木村 和美 ■（単）大学の教職科目「道徳の指導法」の在り方に関する一考察
- 近江 泰介・原 知子
■（共）滋賀短大生の食生活の実態調査 その1
- 早川 滋人 ■（単）「個別の支援計画」作成についての実態調査研究
- 山本 剛史 ■（単）選手のパーソナリティを把握したコーチング法の事例考察
- 手良村昭子 ■（単）乳幼児の描画活動に関する一考察
- 紙屋 信義 ■（単）ドイツの小学校における音楽活動の現状
- 李 霞 ■（単）戦後就学前教育における育成すべき子ども像及び育成方法の変遷
- 柿木 重宜 ■（単）1900年前後における近代「国語」の成立と国語教育の状況について
- 山中 博史・佐藤 尚武
■（共）ボールの違いが幼児の遠投距離及びボール投げトレーニング効果に及ぼす影響
- 金澤 雄介 ■（単）古サルデーニャ語における Differential Object Marking
- 佐藤 尚武 ■（共）2005年から10年にわたる睡眠教育の活動
- 深尾 秀一 ■（単）多文化社会における外国人学校の現状と課題 II

●学術論文 サブタイトル省略

- 佐藤 尚武 ■（共）Sleep education and awareness-raising activities in Japan, Sleep and Biological Rhythms, 14 (Suppl. 1) 1月／
（共）Development of learning-sleep materials for elementary school students in Japan, Sleep and Biological Rhythms, 14 (Suppl. 1) 1月
- 清水まゆみ ■（共）餡（アン）—食文化と科学—1.中国の餡 食生活研究 3月
- 李 霞 ■（単）中国における国際バカロレア導入の現状及び課題 教育目標・評価学会 11月
- 小山内幸治 ■（共）大学生への金融リテラシー調査に基づくFPへの示唆（第6回「FP向上のための小論文コンクール」最優秀賞）Journal of Financial Planning 10月
- 金澤 雄介 ■（単）Il raddoppiamento clítico nel sardo antico Pirvu, Elena (ed.) La linguistica e la letteratura italiana in prospettiva sincronica e diacronica (Atti del VI Convegno internazionale di linguistica dell'Università di Craiova, 19-20 settembre 2014.) 12月

●学会発表

- 原 知子 ■（共）滋賀県伝統なすの物理的特性 日本家政学会 5月／（共）兵庫県で昭和30・40年代に食べられていた家庭料理（その1・ご飯もの、もち）・（共）兵庫県で昭和30・40年代に食べられていた家庭料理（その2・おかず他）日本調理科学会 8月
- 中平真由巳・原 知子
■（共）国産ゴマ油およびナタネ油の調理特性 日本調理科学会 8月
- 高橋ひとみ・中平真由巳
■（共）滋賀県に伝わる行事の食事に対する短期大学生と親世代の嗜好性—行事食を中心に— 日本食育学会 6月／（共）ナレズシ神饌と滋賀県の伝統的食文化の継承 日本調理科学会 8月
- 木下友理子・中平真由巳
■（共）幼稚園児の調理意欲に対する料理教室の影響 日本食育学会 6月
- 木下友理子 ■（共）Children's Habit of Eating a Balanced Diet is Associated with Parent's Awareness of Healthy Lifestyles for Early Childhood in Japan. The Best Poster Award 2nd runner-up ASIAN REGIONAL ASSOCIATION FOR HOME ECONOMICS 8月
- 戸田賀志子 ■（単）明治期の婦人雑誌にみる装い指南—『女学雑誌』から— 服飾文化学会 5月
- 早川 滋人 ■（単）「対象の永続性」再考 教育人間学会 11月
- 深尾 秀一 ■（単）外国人学校における幼児教育の現状と課題について 全国保育士養成協議会第54回研究大会 9月
- 手良村昭子 ■（共）家庭的保育事業（保育ママ）に関する一考察2—アーティストの視点から見た乳幼児の描画活動—日本保育学会第68回大会 5月／（単）「White Nights」絵本学会第18回大会 5月
- 前川 頼子・安井 恵子・古橋紗人子
■（共）保育所実習に関する考察Ⅱ—保護者支援・地域支援の学びについて 第68回日本保育学会 5月
- 小山内幸治 ■（共）大学生を対象とした金融リテラシー調査票の作成について 経済教育学会 9月／（共）大学生の金融リテラシーに及ぼす学校・家庭・社会の影響について 日本教科教育学会 10月
- 江見 和明 ■（単）介護旅行サービスのコミュニティ・ビジネス的展開—滋賀県大津市における介護ベンチャーの事例を中心として— 日本消費経済学会全国大会 6月／（単）地方中核市部における高齢者の暮らしに関する考察—高齢者ニーズ調査の結果から— 日本消費経済学会西日本大会 3月

●演奏会・展覧会

- 手良村昭子 ■「White Nights」東京都美術館 9月／絵本原画展「White Nights」ギャラリー風の門草津 3月
- 柚木たまみ ■ギュスターヴ・モロー 美術史コンサート 京都府文化芸術会館 4月／「京とりこ」コンサート 雲山寺 6月／Des tableaux d'été 夏の情景 平野の家わざ永々棟 7月／The TARO Singers 20周年記念コンサート ザ・シンフォニーホール 9月／「京とりこ」inオペラパーク ポップタウン住道オペラパーク 9月／音楽のひととき ハッセルハウス 11月／メサイアチャリティーコンサート 京都堀川高等学校ホール 11月／クリスマスの饗宴 京都文化博物館別館ホール 12月／

●その他の発表

- 佐藤 尚武 ■ 睡眠健康指導士上級講座テキスト 日本睡眠教育機構 11月
／睡眠健康指導士上級スキルアップ更新講座テキスト 日本睡眠教育機構 11月
- 木谷 康子 ■ JAレック大津農業まつりにおける地産地消レシピの提案と試食品の提供 地域連携年報3号 2月
- 戸田賀志子 ■ (一社)日本反射材普及協会主催「反射材エキシビション・2015」での反射材グッズ展示 東京芸術センター 9月
- 早川 滋人 ■ 「個別の支援計画」策定への協働 観修会 7月
- 松木 宏史 ■ 「住まいは人権」デーシンポジウム シンポジスト 日本大学 6月／地域福祉を考える摂津市民の集い 講演 摂津市地域福祉活動センター 2月／大津市平野学区社会福祉協議会福祉委員研修会ファシリテーター平野市民センター 3月
- 李 霞 ■ 「大津市における『保育士の質』の実態と課題」地域連携年報3号 2月／「大津市における『保育士の質低下』の実態に関する調査」滋賀短期大学 3月
- 清水たま子 ■ 大学地域連携課題解決支援事業活動「カミッシュ」づくりと啓蒙活動 環びわ湖大学地域交流フェスタ2015 9月
- 久保 覚司 ■ 短期大学における医療秘書・医療事務教育と医療事務系資格に関する考察 滋賀短期大学 3月

●国際的活動

- 高橋ひとみ・中平真由巳
- ラムサールびわっこ大使事業 小学生国際交流会和食の解説と淡水魚の調理実習指導 チェンマイラジャバット大学 11月
- 山本 剛史 ■ メンタルトレーニングのセッション (エゴグラムの活用法・チーム、個人) Texas University at Arlington 2月
- 金澤 雄介 ■ Buchi, Éva & Schweickard, Wolfgang (dir.), (2008-) : Dictionnaire Étymologique Roman (DÉRom). 編集協力者 2011年11月から継続

●社会的活動

- 佐藤 尚武 ■ 第9回睡眠障害セミナー市民公開講座講師 福岡市 エルガーホール 7月／草津市教職員教科等別研修会講師 草津市立草津中学校 8月／睡眠健康指導士上級講座講師 LMJ東京研修センター 11月／睡眠健康指導士上級スキルアップ更新講座講師 大津市 ピアザ淡海 11月
- 中平真由巳 ■ 滋賀県保育者協議会 調理担当者研修講師 滋賀県長寿社会福祉センター 10月／2015年度大津市立和邇図書館教育講座 大津市立和邇図書館 12月／湖国の食 中日新聞 2月／近江美味しもの KBS京都ラジオ 2月
- 中平真由巳・木下友理子
- 竜王牛井丸の商品開発 道の駅竜王かがみの里 6月
- 清水まゆみ ■ 湖国の食 中日新聞 8月／近江美味しもの KBS京都ラジオ 8月
- 原 知子 ■ だし講義実演講習講師 (未来医EXPO2015) 神戸国際展示場 4月／嚥下食七イベント一文月の松花堂 萌木の里 7月／大津市保健所調理師研修会講師「子どもは本当に野菜が嫌いかな？」大津市民文化会館 7月／滋賀短期大学・滋賀医科大学共催公開講座 調理実習の部 本学 7月
- 高橋ひとみ・原 知子
- 家庭的保育事業研修「子ども(3歳未満児)の栄養管理」本

学 11月

- 高橋ひとみ ■ こども料理教室講師 滋賀県立びわ湖こどもの国 11月／ふなずし料理教室 稲枝北小学校 2月／湖国の食 中日新聞 9月／近江美味しもの KBS京都ラジオ 9月
- 木下友理子 ■ 健康栄養ミニ講座講師 竜王かがみの里 6月
- 木下友理子・中平真由巳
- 滋賀短期大学附属幼稚園『クッキング教室』本学調理室 6、7月／湖魚料理教室 コミュニティーセンターなかさと、本学調理室 7、3月
- 木下友理子・中平真由巳・高橋ひとみ
- 滋賀短Kids 本学調理室 10～3月
- 戸田賀志子 ■ パン販売所ディスプレイおよびカラーコーディネート、クリスマス飾り付けアドバイス 竜王かがみの里 7月 12月
- 早川 滋人 ■ 家族心理教育インストラクタースキルアップセミナー 東京 7月
- 山本 剛史 ■ 西大路幼稚園 園内研究会 講師 西大路幼稚園 6月／日本体育協会公認スポーツ指導員養成講習会 講師 本学 11月／全日本大学バスケットボール連盟 推薦理事／関西女子バスケットボール連盟 副理事長
- 北尾 岳夫 ■ 京都YMCAスキー専門委員 京都YMCA他
- 深尾 秀一 ■ 教員免許状更新講習会講師 滋賀大学教育学部 8月
- 手良村昭子 ■ サクラクレパス六甲研修会講師 兵庫県民会館 8月／家庭的保育事業 現任者研修講師 本学 9月／あそびの学校 造形指導及び学生引率 パルコ大津店 5,6,10,11月
- 柚木たまみ ■ とっておきの音楽祭 たんば田園交響ホール 篠山市 9月／第29回淡海文化講座 天使の歌声～ハンドベル 滋賀短期大学 10月／滋賀短期大学地域移動講座in甲賀 甲南情報交流センター 忍の里プララ 10月
- 松木 宏史 ■ 吹田市第三次地域福祉計画策定委員 吹田市／摂津市第三期地域福祉計画推進協議会委員 摂津市／大津市平野学区社会福祉協議会参与 大津市
- 古橋紗人子 ■ 第2回接遇指導者研修講師 ピアザ淡海研修センター 8月／野洲市子ども子育て支援会議会長 野洲市役所 年3回／京都府第3者評価審議会委員 京都市ハートピア 年5回／子育て支援員基本研修「保育原理」等、4講座担当講師 滋賀県庁 1月
- 安井 恵子 ■ 第2回幼稚園・保育園職員研修会講師 甲南中央公民館 6月／家庭的保育事業基礎研修会講師 本学 8月、9月／教員免許状更新講習会講師 滋賀大学教育学部 8月／長浜市教育委員会「保育士10年次研修会」講師 長浜市立長浜北保育園 9月、10月、12月
- 李 霞 ■ 月刊『保育とカリキュラム』の編集委員 ひかりの国出版社
- 前川 頼子 ■ 園内研究「自然の中で心を動かす」講師 高島市立古賀保育園 7月／育児講座 高島市立古賀保育園 11月／家庭的保育事業等研修講師 本学 8月／滋賀県子育て支援員研修 滋賀県庁 1月
- 山中 博史 ■ 守山物部スポーツクラブ夏休みキッズ教室 守山小学校 8月
- 江見 和明 ■ 第47回人権を考える大津市民のつどい「秋の集い」講演 逢坂小学校 11月／NHKおうみ発630「大津市の課題 子育てと高齢者の暮らし」NHK 1月／日本消費経済学会監事 10月～
- 金澤 雄介 ■ 関西言語学会編集委員
- 清水たま子 ■ 一般社団法人日本秘書協会顧問／日本国際秘書学会事務局

この紹介は、本人の報告書から作成いたしました。

一つのピリオド

平成27年4月から1年間、「働く女性のメンタルヘルスと子育て、子育てに関する研究」という研究テーマで、関西学院大学教職教育研究センターに国内研修に行かせて頂きました。松村理事長、佐藤学長をはじめ、純美禮学園の教職員の方々、誠に有難うございました。

この1年間お世話になったゼミは社会人の方も受講できるように夕方から開講されており、現場で働く中学、高校の先生方（大学院生、卒業生）も出席されていました。授業中だけではなく、その後の居酒屋に移動しての第二授業（？）でも研究のこと、現場のこと、教育現場で頑張っておられる卒業生のことなど、さまざまな話をすることができました。長

幼児教育保育学科 教授 荻田 純久
年こうした時間に飢えていた私は、多くの刺激を参加者の方から頂き、自分の研究に取り組むための活力とさせて頂きました。

いずれにしても、これで私の研究は一つのピリオドを打つことができたと云えるでしょう。研究成果は、このあと徐々に論文、書籍として発表させて頂いたり、教育現場等に還元させて頂いたりすることになるかと思います。また自分の新たな研究に向けて挑戦していきたいと思えます。皆さま、誠に有難うございました。



本学は、平成27年度 (財)短期大学基準協会による第三者評価の結果、適格と認定されました。

本学は、平成27年度に一般財団法人短期大学基準協会による第三者評価を受審し、基準協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成28年3月10日付で「適格」とであると認定されました。

今回の第三者評価を受けるにあたり、自己点検・評価に関わる部会、評価委員会、統括委員会において検討を重ね、その報告書を平成27年5月に短期大学基準協会に提出しました。それを基に、平成27年10月5日・6日には訪問調査を受け、両日に

わたって評価委員の先生方から貴重なご意見とご助言をいただきました。これらにつきましては、今後の教育研究の改善に活かしていく所存としております。

短期大学基準協会の評価に関わっていたいただいた先生方に、また評価を受けるにあたってご協力とご支援をいただいた本学園の皆様方に、厚くお礼を申し上げます。



人 事 の 異 動

3月31日付異動

退 職

生活学科	特任講師	木村 和美
生活学科	特任助手	鈴木 晴香
生活学科	特任助手	近江 泰介
幼児教育保育学科	教授	越智 純子
幼児教育保育学科	教授	早川 滋人
幼児教育保育学科	特任教授	古橋紗人子
幼児教育保育学科	特任准教授	紙屋 信義
ビジネスコミュニケーション学科	教授	柿木 重宜
ビジネスコミュニケーション学科	特任教授	陣内皓之祐
地域連携教育研究センター	嘱託職員	加藤 朋子
生活学科アパレル構成研究室	非常勤職員	西村 夏弥

4月1日付異動

採 用

生活学科	教授	原 知子 (特任教授)
生活学科	特任教授	柳父 立一
生活学科	特任助手	岡田 香織
幼児教育保育学科	准教授	前川 頼子 (特任准教授)
幼児教育保育学科	講師	李 霞 (特任講師)
幼児教育保育学科	講師	北後佐知子
幼児教育保育学科	特任助教	浜崎 由紀
幼児教育保育学科	特任助教	松井 典子
ビジネスコミュニケーション学科	特任教授	堀池喜八郎
ビジネスコミュニケーション学科	特任助教(非)	伊澤 亮介

入試広報課	課長補佐	三好 隆之
総務課	主事	阿部 綾瀬 (入試広報課嘱託職員)
学生支援課	主事	安川真璃子 (学生支援課嘱託職員)
乳幼児総合研究所	非常勤職員	牧野 千里
生活学科	教授	清水まゆみ (准教授)
幼児教育保育学科	教授	手良村昭子 (准教授)
幼児教育保育学科	教授	柚木たまみ (准教授)
幼児教育保育学科	准教授	松木 宏史 (講師)
教務課	課長	高田 伸子 (課長心得)
総務課	課長心得	中村 治重 (課長補佐)
学生支援課	課長心得	大伴 嘉彦 (課長補佐)
学生支援課	主任	中塚 豊 (主事)
教務課	主任	辻 順一 (主事)

所属変更等

入試広報センター	特任准教授(非)	安井 恵子 (幼児教育保育学科特任准教授)
幼児教育保育学科	特任准教授(非)	山中よし枝 (乳幼児総合研究所嘱託職員)
総務課係長兼地域連携教育研究センター係長		山本真砂子 (総務課係長)

4月7日付異動

採 用

生活学科	特任助手	鈴木 晴香
------	------	-------

5月1日付異動

採 用

生活学科アパレル構成研究室	非常勤職員	青山 美和
---------------	-------	-------